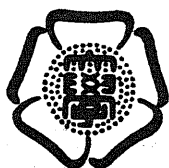


第138号



# お茶の水女子大学学报

平成 3 年 1 月 1 日  
お茶の水女子大学庶務課

## 目 次

◇関係法令	1
◇人 事	2
◇学 事	4
平成3年度お茶の水女子大学大学院 人間文化研究科学生募集要項	4
平成3年度お茶の水女子大学大学院 理学研究科学生第2次募集要項	8
科学研究費補助金交付決定について	10
◇諸 報	11
学位記授与式について	11
奨学金授与式について	11
平成2年度秋の叙勲について	12
永年勤続者表彰について	12
海外渡航	13
研 修	14
健康診断	15
レクリエーション行事	15
◇日 誌	16

## 関 係 法 令

### 【省 令】

- 旅券法施行規則の一部を改正する省令（外務省令第8号、10月22日官報）
- 国立の学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令（文部省令第28号11月1日官報）
- 国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正する省令（大蔵省令第39号、12月1日官報）

### 【告 示】

- 教科用図書の特許に関する件（文部省告示第115号、10月15日官報）
- 国家行政組織法の規定に基づき平成2年10月1日現在の国の行政機関の組織を告示（総務庁第78号、11月7日官報）

人 事
-----

## ○常勤職員

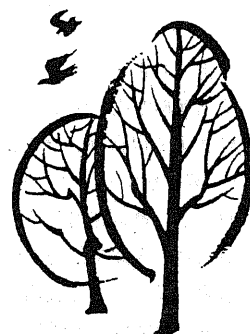
発令年月日	氏 名	異 動 内 容	異 動 区 分	異 動 前 の 所 属 ・ 官 職
2.10.26	宮 本 乙 女	育児休業許可 期間 3.7.31まで	休 職	(附属中学校教諭)
"	深 山 正 代	附属中学校教諭 任期 3.7.31まで	臨時的任用	
2.11.16	袖 井 孝 子	教授(家政学部)	昇 任	助教授(家政学部)
2.12.10	倉 田 知 司	辞職承認	退 職	家政学部

## ○非常勤職員

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
2.10.25	佐 藤 英 子	辞職承認		学生課
2.10.31	山 川 ハ ル 子	"		入学主幹付
"	葉 倩 瑋	"		文教育学部
"	中 原 いづみ	"		"
2.11.15	斉 藤 さとみ	"		"
2.11.30	中 村 幸 子	"		附属図書館
"	川 上 香	"		理学部
"	濱 田 初 子	"		家政学部
2.12.1	吉 田 道 代	事務補佐員(文教育学部)	2.12.1～3.3.31	
"	馬 淵 依 子	教務補佐員(理学部)	"	
"	小 松 真 理	教務補佐員(家政学部)	"	
2.12.10	原 弘 子	辞職承認		附属図書館
2.12.14	小 杉 弘 子	事務補佐員(附属図書館)	2.12.14～3.3.31	

## ○非常勤講師

発令年月日	氏 名	異 動 内 容	期 間	備 考
2.11.1	前之園 幸一郎	講師（文教育学部）	2.11.1～3.3.31	青山学院女子短期大学教授
"	加 藤 三由起	"	"	和光大学講師
"	西 沢 清 子	講師（理学部）	"	上智大学助手
"	川 島 誠 一	"	"	東京都老人総合研究所室長
"	宮 崎 基 嘉	講師（家政学部）	"	
"	星 野 澄 子	"	"	
"	井 部 成 子	講師（附属高等学校）	"	
2.12.1	筱 田 健 一	講師（理学部）	2.12.1～3.3.31	上智大学助教授
"	若 林 功	"	"	東京農工大学助教授
"	高 橋 涉	"	"	東京工業大学助教授
"	石 黒 慎 一	"	"	東京工業大学助教授
"	濱 口 幸 久	"	"	東京工業大学教授
"	宇 野 功	"	"	東京大学教授
"	渡 辺 隆 夫	"	"	国立遺伝学研究所助教授
"	長 南 信 雄	"	"	茨城大学教授



# 学 事

## ○平成3年度お茶の水女子大学大学院人間文化研究科（博士課程） 学 生 募 集 要 項

### 1. 専攻名及び募集定員

比較文化学専攻 16名

人間発達学専攻 10名

人間環境学専攻 9名

### 2. 修業年限 3年

### 3. 出願資格 下記に該当する女子とする。

- (1) 修士の学位を有する者（平成3年3月修士の学位を得る見込みの者を含む。）
- (2) 外国において、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (3) 本研究科において、修士の学位を有する者と同以上の学力があると認めた者

### 4. 出願手続

- (1) 入学願書 用紙は本学で交付する。
- (2) 修士課程修了（見込）証明書
- (3) 修士論文要旨 1部、内容・形式は「7. 第二次試験手続(2)」を参照のこと。
- (4) 調査書 出身大学長又は研究科の長が作成したもの。用紙は本学で交付する。
- (5) 推薦書 指導教官ないしはそれに準ずる者が作成したもの。用紙は本学で交付する。
- (6) 健康診断書 保険所等公的医療機関で作成したもの。用紙は本学で交付する。
- (7) 受験許可書 在職中の者は所属長の、他の大学院に在学中の者（修了見込の者を除く。）は当該大学長が作成したもの。

上記の書類を一括し、入学検定料22,000円を添え出願期間内に本学に提出すること。やむを得ず郵送する場合は、検定料を郵便為替（受取人欄に「お茶の水女子大学」と明記すること。）とし、同封の上、書留速達郵便で送付すること。その場合、封筒に「人間文化研究科願書在中」と朱書きし、返信用封筒（定形郵便物用封筒にあて先を明記し、272円切手貼付）を同封すること。

### 5. 出願期間・願書受付場所

#### (1) 出 願 期 間

平成3年1月17日（木）から1月24日（木）まで。（ただし、土曜日・日曜日を除く。）

受付時間 午前9時～12時

午後1時～3時

郵送の場合は、締切日までの消印有効。

#### (2) 願書受付場所

お茶の水女子大学大学院人間文化研究科棟

1階事務室

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

### 6. 第一次試験

(1) 選考期日 平成3年2月4日（月）

(2) 試験内容 筆答試験（論文・言語）

(3) 時間割

日 時	10:00～11:15	13:00～15:15
2月4日（月）	共通論文	○言 語 （英語・独語・仏語・ 中国語・日本古典語） ○現代日本語（外国人 留学生のみ） ○自然系論文

注1. 午後の試験については下記のいずれかの方法により試験場で選択すること。

ア『言語』の中から2科目を選択

イ『言語』の中から1科目選択及び『自然系論文』

ウ外国人留学生は『言語』の中の1科目に代えて『現代日本語』を選択することができる。従って『現代日本語』と『自然系論文』あるいは『現代日本語』と『言語』を組み合わせることができる。

注2. 『言語』及び『現代日本語』試験について

ア英語・独語・仏語・中国語・現代日本語については、辞書の使用を認める。

イ日本古典語は、古文・日本漢文・古文書とし、3種目の中から2種目を試験場で選択すること。

なお、外国人留学生については、古語辞典・漢和辞典の類の使用を認める。

ウ) 現代日本語の試験は、和文を外国語(英語・独語・仏語・中国語のいずれかの言語を選択)に訳す。

#### (4) 試験場所

お茶の水女子大学人間文化研究科棟

#### (5) 第一次合格発表

平成3年2月8日(金)午前、人間文化研究科棟1階公示板に掲示する。

### 7. 第二次試験手続

第一次試験合格者は、2月12日(火)午前9時から5時までに、人間文化研究科棟1階事務室に次の書類を提出すること。

#### (1) 修士論文 2部

ただし、修士論文以外に別主題について発表した論文があり、その論文を主論文とすることを希望するときは、その旨を明記し、添付すること。また、修士論文提出後の研究により修士論文を補足する研究成果のある場合には、その論文を添付することができる。

なお、修士論文をもたない場合は、これに代わるものを提出すること。

(いずれの場合も、2部提出すること)

提出論文は、試験終了時に返却する。

#### (2) 上記論文(主論文)の要旨

2,000字以内、横書き、B4版用紙2枚(図表を含む。)におさめ、コピー6部

#### (3) 研究計画書 1,000字前後、横書き、B4版用紙1枚におさめ、コピー6部

注. (2)及び(3)は、(2)、(3)の順に1組ずつ左肩をホッチキス止めし、6部をクリップでまとめること。

### 8. 第二次試験

#### (1) 選考期日

平成3年3月5日(火)～平成3年3月7日(木)のうち本学で指定する日時

#### (2) 試験内容

口述試験(主論文及び研究計画)

#### (3) 試験場所

お茶の水女子大学人間文化研究科棟

### 9. 合格者発表

平成3年3月14日(木)午前

発表は、人間文化研究科棟1階公示板に合格者氏名を掲示するとともに、本人あてに合格通知書を郵

送する。

### 10. 入学科及び授業料

入学科	206,000円
授業料(年額)	375,600円(前期 187,800円 後期187,800円)

### 11. 注意事項

(1) 同一年度に、2専攻に出願することはできない。  
(2) 出願手続き後は、いかなる事情があっても、書類の変更及び検定料の払いもどしの要求には応じない。

(3) 出願について、不明な点がある場合には、庶務課大学院係に問い合わせられたい。

なお、外国人留学生の出願は、学務課留学生係が窓口となり、この要領によらない事項があるので注意すること。

(4) 合格・不合格に関する郵便・電信・電話等による問い合わせには一切応じない。

平成2年12月

お茶の水女子大学

〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号

TEL (03) 3943-3151

## お茶の水女子大学大学院人間文化研究科（博士課程）概要

### 1. 目的

本学の博士課程は、女性研究者が専門諸分野の基盤に立つ高度の学際的総合研究を行うに必要な創造的能力を育成し、もって、学術水準の向上に寄与することを目的とする。

### 2. 修業年限

3年（本学の博士課程は、修士課程とは独立の課程である。）

### 3. 専攻及び学生定員

専攻名	比較文化学専攻	人間発達学専攻	人間環境学専攻	計
入学定員	16	10	9	35
総定員	48	30	27	105

### 4. 履修方法及び課程の修了

学生は、3年以上在学し、それぞれ専攻で定めた授業科目について所定の単位を修得し、かつ、学位論文審査並びに最終試験に合格しなければならない。

### 5. 各専攻及び博士講座の要旨

専攻名	講座名	要 旨
比較文化学専攻	文化構造論	文化構造の基礎理論と比較の原理・原論の探求を行うとともに、東洋文化と西洋文化それぞれの要素特質を究明して東西文化の対比対照的考察・交流・交渉関係の解明を行う。具体的実証的・東西比較研究と並行して文化一般の構造・機能の本質に迫り、比較文化理論の樹立を目指す。
	日本文化論	日本文学を中心とする日本文化の歴史的・思想的・社会的展開を解明する。 すなわち、まず文学を対象とする研究領域から、歴史・思想・社会・人間関係などの各研究領域を併せて総合的に、日本文化の基本の探究を指向する。
	言語文化論	言語による文化—諸国語の文学を、その言語表現に留意しつつ比較対照し、あるいは、その相互影響の跡をたどって、より大きいパースペクティブの中での文学理解を目指す。また、言語の比較対照によって各国語の特質を究明する。
	比較芸術論	芸術の諸分野における歴史的・地域的比較を行うとともに、各分野相互の比較を、単に現象面のみならず、精神面、機能面からも有機的に行い、芸術的創造ないし表現の本質を究明することを目的とする。
	比較社会構造論	東洋・西洋の各地域の文化を社会構造の面からとらえる。すなわち、社会構造、その変動過程、あるいは諸社会の接触交流について、歴史学・地理学・文化人類学など諸科学の視角から具体的にとらえるとともに、これを総合的に比較研究し、さらにこれに基づいて日本の社会構造及び文化構造の基本的性格を解明する。
	科学文化論	比較文化学の一環として科学基礎論並びに科学史の研究を行うとともに、人間文化の諸領域に内在する数理的構造を数学的・情報科学的に研究し、個別文化をつらぬく普遍的な文化構造の解明を目指す。
人間発達学専攻	発達基礎論	種としての人間発達の特質を明らかにするために、個体発生・系統発生上の比較考察から出発して、胎児期より老年期に至るまでの発達過程、各発達段階の特性、発達要因などの解明を目指すとともに、歴史的・人間学的考察にたって総合的な発達目標の検討を行う。
	発達過程論	生涯にわたる人間発達の過程を、保育・教育・臨床等の実践との関連のもとに研究を行う。心理治療、保育の理論、診断、治療、実践の技法、家庭・集団・文化と人間発達との関連の諸問題を含む。
	発達環境論	人間発達と社会環境との関連を歴史的・地域的・国際的比較研究によって解明し、発達の各時期に対応する発達課題と教育課題を探究する。人間発達に影響を及ぼす意図的・制度的な教育機関、内容及び非制度的な教育機会について、全体的・体系的に研究し、発達の機会を保障していく理論と方法の確立を目指す。

専攻名		講座名	要 旨
人間環境学専攻	文化の主体をなす人間の生態・行動形式の探究の基礎の上に生活に密着した物質文化の様態を、人間と環境とのかわり合いという視点より説明を行う。	人間生態論	人間と自然環境との関係を、生物としての人間の面からと、環境の側からとの二つの研究方向からとらえる。それらの相互の関係の対比と関連とを総合化することによって、新しい人間生態学の基礎をつくりあげ、人類の生存のための最適環境を究明する。
		生活環境論	人間と生活環境との関係を、生活それ自身のあり方と生活より派生する諸問題の解決に焦点をおき、生活物資、素材の基本的条件の検討から生活を目的とする環境の最適状態及び諸条件を解明する。
		環境基礎論	人間をとりまく自然環境の構造及びそこに発生する諸現象の精密な研究を行い、それによって自然の本質を究明し環境学の基礎理論の確立に寄与する。

## 6. 担当専任教官

専攻名	講座名	担当指導教官
比較文化学専攻	文化構造論	教授 宮 島 喬 " 吉 田 夏彦 " 佐 藤 保信 " 中 川 信 " 尾 田 幸雄 " 田中真砂子
		教授 三 木 紀 人 " 浅 井 清 " 大 口 勇次郎 " 青 木 和 夫 " 堤 精 二 " 水 谷 信 子 助教授 平 野 由 紀 子
	日本文化論	教授 宮 川 幸 久 " 市 川 孝 " 海 老 根 静 江 " 杉 本 正 哉 " 白 藤 禮 幸 " 酒 本 雅 之 " 野 島 秀 勝
		教授 辻 佐 保 子 " 板 倉 壽 郎 " 徳 丸 吉 彦 " 小 池 三 枝
	言語文化論	教授 窪 添 慶 文 " 石 川 宏 " 井 内 昇 " 式 正 英 " 平 野 孝 助教授 山 本 秀 行
		教授 小 川 洋 輔 " 渡 辺 ヒ サ 子 " 小 山 敏 子 " 細 矢 治 夫 " 富 永 靖 徳 " 澤 島 侑 子 " 石 和 貞 男
	比較社会構造論	教授 小 川 洋 輔 " 渡 辺 ヒ サ 子 " 小 山 敏 子 " 細 矢 治 夫 " 富 永 靖 徳 " 澤 島 侑 子 " 石 和 貞 男
		教授 小 川 洋 輔 " 渡 辺 ヒ サ 子 " 小 山 敏 子 " 細 矢 治 夫 " 富 永 靖 徳 " 澤 島 侑 子 " 石 和 貞 男
	科学文化論	教授 小 川 洋 輔 " 渡 辺 ヒ サ 子 " 小 山 敏 子 " 細 矢 治 夫 " 富 永 靖 徳 " 澤 島 侑 子 " 石 和 貞 男
		教授 小 川 洋 輔 " 渡 辺 ヒ サ 子 " 小 山 敏 子 " 細 矢 治 夫 " 富 永 靖 徳 " 澤 島 侑 子 " 石 和 貞 男

専攻名	講座名	担当指導教官
人間環境学専攻	発達基礎論	教授 土 屋 賢 二 " 藤 永 保 " 原 ひろ子 " 上 野 浩 道 " 春 田 喬 " 森 下 はるみ
		教授 須 賀 哲 夫 " 水 野 悌 一 " 本 田 和 子 " 森 田 明 子 " 内 田 伸 子
	発達過程論	教授 森 隆 夫 " 小 川 剛 " 湯 沢 雅 彦 " 加 賀 秀 夫 助教授 宮 原 修
		教授 富 田 守 " 清 水 碩 益 " 遠 山 益 " 内 嶋 善 兵 衛 助教授 馬 場 昭 次
	人間生態論	教授 小 林 彰 夫 " 中 島 利 誠 " 島 田 淳 子 " 前 田 侯 子 " 荒 川 信 彦 " 本 間 清 一 " 倉 田 忠 男 " 五十嵐 脩 " 小 川 昭 二 郎
	生活環境論	教授 小 林 彰 夫 " 中 島 利 誠 " 島 田 淳 子 " 前 田 侯 子 " 荒 川 信 彦 " 本 間 清 一 " 倉 田 忠 男 " 五十嵐 脩 " 小 川 昭 二 郎
		教授 小 林 彰 夫 " 中 島 利 誠 " 島 田 淳 子 " 前 田 侯 子 " 荒 川 信 彦 " 本 間 清 一 " 倉 田 忠 男 " 五十嵐 脩 " 小 川 昭 二 郎
		教授 小 林 彰 夫 " 中 島 利 誠 " 島 田 淳 子 " 前 田 侯 子 " 荒 川 信 彦 " 本 間 清 一 " 倉 田 忠 男 " 五十嵐 脩 " 小 川 昭 二 郎
	環境基礎論	教授 富 田 功 翠 " 田 中 厚 子 " 伊 藤 厚 子 " 瀬 野 信 子 " 藤 原 正 彦 " 柴 田 文 明 " 福 田 豊 助教授 松 本 勲 武
		教授 富 田 功 翠 " 田 中 厚 子 " 伊 藤 厚 子 " 瀬 野 信 子 " 藤 原 正 彦 " 柴 田 文 明 " 福 田 豊 助教授 松 本 勲 武

○平成3年度お茶の水女子大学大学院  
理学研究科（修士課程）学生第2次募集要項

1. 出願資格 下記該当の女子とする。

- (1) 大学を卒業した者及び平成3年3月卒業見込みの者
- (2) 文部大臣の指定した者
- (3) 外国の大学を卒業した者
- (4) 本学の大学院において、大学を卒業した者と同以上の学力があると認めた者

2. 選抜方法

- (1) 入学の選抜は、学力検査（筆記試験・口述試験）、調査書等を総合して決定する。
- (2) 外国人学生の選抜は、本学大学院外国人学生規程による。

3. 募集人員及び学力検査

専攻名	募集人員	試験日時	試験科目
物理学	数名	2月1日（金） 9：20～10：50 11：00～12：30 13：30～15：30 16：30～	一般・基礎教育科目（物理学） 外国語①（英・独・仏・露のうちから2カ国語を選択） 専門科目（物理学） 口述試験
化学	数名	2月1日（金） 10：30～12：00 13：00～16：00	一般・基礎教育科目 ※（「化学」及び「物理学」又は「生理学」） 専門科目（化学）
		2月2日（土） 10：00～12：00 13：30～	外国語②（英語） 口述試験
生物学	数名	2月1日（金） 10：00～12：00 13：00～16：00 16：30～	外国語②（英語） 専門科目（生物学の諸分野から出題した約12問から4問を選択） 口述試験

※ 「物理学」又は「生物学」のうち1科目を選択すること。ただし、志望区分「化F」志望者は第1志望、第2志望を問わず「物理学」を選択すること。

- ① 英語以外の1カ国語について辞書の使用を認める。
- ② 辞書の使用は認めない。

4. 出願期間

平成3年1月16日（水）から1月18日（金）まで。

なお、郵送する場合は、必ず書留で「大学院理学研究科入学願書」と朱書すること。（1月18日消印有効）

5. 出願手続

(1) 願書受付

ア 場所 お茶の水女子大学理学部事務部  
〒112 東京都文京区大塚2丁目1番1号  
電話：東京（03）3943-3151（大代表）

イ 時間 午前9時から午後3時まで

(2) 提出書類等

ア 志願者名票、受験票及び履歴書（本学所定の用紙）

イ 卒業（又は見込）証明書

ウ 健康診断書（本学所定の用紙）

エ 調査書（本学所定の用紙）

オ 検定料22,000円 現金又は郵便為替

カ 受験承諾書 在職者及び他の大学の大学院在籍者は、所属長の承諾書を提出すること。（様式随意）

キ 返信用封筒 郵便の場合に限り、あて先を明記して、62円切手を貼った定型郵便物用封筒を同封すること。

6. 合格者の発表

- (1) 2月7日（木）正午の予定。理学部1号館内掲示板に掲示するとともに、合格通知書を送付する。



- (2) 入学手続関係書類は、平成3年3月中旬に送付する。

#### 7. 修了の条件及び学費

- (1) 修業年限は2年以上とする。  
 (2) 総計30単位以上修得する。  
 (3) 課程の修了には前2項のほか、学位論文を提出して最終試験に合格することを必要とする。  
 (4) 入学科206,000円、授業料年額375,600円（改定予定額）

#### 8. その他

- (1) 出願後、書類の変更や検定料の払い戻しは行わない。

- (2) 出願書類等の請求は、あて先を明記し、72円切手を貼った定型郵便物封筒（23.5cm×12cm）を同封すること。

- (3) 受験に関する問い合わせは、往復はがきによるか、返信用封筒（切手貼付）を同封し、必ず返信先を明記すること。

#### 9. 大学所在地案内

都営バス 大塚2丁目停留所前

地下鉄 丸の内線 茗荷谷駅から徒歩 約5分

地下鉄 有楽町線 護国寺駅（音羽口）から徒歩 約5分

### ○平成3年度お茶の水女子大学大学院 理学研究科（修士課程）各専攻課程の研究概要

#### 1. 数学専攻課程

志望区分	担当教官	主な研究分野
数A （解析学）	教授 澤島 侑子 教授 高村 幸男 教授 渡辺ヒサ子 助教授 前田ミチエ 助教授 竹尾富貴子 助教授 真島 秀行	関数解析と実解析 関数解析と偏微分方程式 ポテンシャル論 測度論 作用素論 微分方程式論
数B （代数学）	教授 小山 敏子 教授 藤原 正彦 助教授 桂 利行	群論 数論、代数群 代数幾何学
数C （幾何学）	教授 小川 洋輔 助教授 塚田 和美	微分幾何 微分幾何

#### 2. 物理学専攻課程

志望区分	担当教官	主な研究分野
物 A	助教授 菅本 晶夫	素粒子論
物 B	教授 伊藤 敬 助教授 佐藤 浩史	原子・分子の構造と衝突の理論
物 C	教授 柴田 文明	統計力学 不可逆過程の理論
物 D	助教授 太田 隆夫	物性理論、非平衡開放系の理論
物 E	教授 田中 翠 教授 伊藤 厚子 教授 富永 靖徳	磁性体の構造と相転移（メスバウア分光・磁化測定） ランダム磁性体の静的・動的構造（メスバウア分光・磁化測定・中性子散乱） 誘電体・生体物質のラマン分光と誘電分散

## 3. 化学専攻課程

志望区分	担当教官	主な研究分野
化 A (物 理) (化 学)	教 授 平野 恒夫 助教授 今野美智子 助教授 堀 佳也子	分子の構造、反応性に関する量子化学 生体物質の結晶構造及び反応機構の研究 液晶相形成物質の構造と性質に関する研究
化 B (無 機) (化 学)	教 授 福田 豊 助教授 益田 祐一	機能性錯体の合成と反応に関する研究 溶液内の局所構造とそのダイナミックス
化 C (有 機) (化 学)	教 授 前田 侯子 助教授 永野 肇	有機光化学反応の研究 天然物有機化学ー主としてテルペン類の合成研究
化 D (生 物) (化 学)	教 授 ※ 助教授 瀬野 信子 助教授 松本 勲武	細胞間マトリックス複合糖質の生化学的研究 生体物質間（特にレクチンと糖）の特異的相互作用
化 E (分 析) (化 学)	教 授 富田 功 助教授 藤枝 修子	分析化学的に興味のある化学反応特にイオン交換反応の研究 化学現象の計測に関する研究
化 F (構 造) (化 学)	教 授 細矢 治夫	分子の電子構造、化学情報の研究

※ 本年度は、研究指導は行わない。

## 4. 生物学専攻課程

担当教官	主な研究分野
教 授 新関 滋也	高等植物の生殖生理
教 授 能村 堆子	細胞運動機構
教 授 清水 碩	植物の老化、クロロフィルの代謝
教 授 遠山 益	光合成器官の形態形成、細胞組織培養法の開発
教 授 石和 貞男	ショウジョウバエを主とした進化・集団遺伝学
助教授 山下 貴司	単子葉植物の発生と系統
助教授 馬場 昭次	繊毛運動の生理学
助教授 林 正男	高等動物の生化学・細胞生物学、フィブロネクチン、ビトロネクチン
助教授 渡辺 洋子	海綿動物を主とした発生及び系統
助教授 芦原 坦	高等植物の代謝制御機構の解析
助教授 根本 心一 (臨海実験所)	棘皮動物を主とした発生機構
教 授 内嶋善兵衛 (環境科学)	気象・気候環境の変化と植物生産

## ○平成2年度科学研究費補助金配分決定について（追加）

種 目	研究代表者 所属・職	氏 名	決定金額 (千円)	研 究 課 題
一般研究 (C)	理 学 部 教 授	能村 堆子	1,600	ダイニンによる“微小管の動的不安定性”の調節
〃	人間文化研究科 助 手	菅井 清美	1,200	衣服を用いた身体局所加温・冷却による生理機能増進法の研究

## 諸 報

### ○学位記授与式について

学位記授与式（論文博士）が、12月11日（火）大学会議室（家政学部本館2階）において行われ、下記の者に学術博士の称号が授与された。

博乙第19号 小川宣子

論文題目 家禽卵蛋白質の理化学的研究  
—構成蛋白質と熱凝固性—



### ○奨学金授与式について

平成2年度奨学金授与式が11月20日（火）大学会議室（家政学部本館2階）で行われた



#### 平成2年度 奨学金受奨者

・保井・黒田奨学金受奨者

第43号 氏 名：内山智香子

研究題目：「誘電緩和およびスピン緩和の理論」

受奨金額：5万円

第44号 氏 名：山田サチ子

研究題目：「金属酸化物—非極性溶媒界面における有機化合物の新奇な吸着及び脱着発光の研究」

受奨金額：5万円

・被服学奨学金受奨者

第48号 氏 名：鈴木すゝ江

研究題目：「近代日本の女性の服飾」

受奨金額：7万円

・食物学奨学金受奨者

第42号 氏 名：市川朝子

研究題目：「小麦粉に関する調理科学的研究」

受奨金額：7万円

第43号 氏 名：時友裕紀子

研究題目：「加熱調理食品の甘い香気成分とその生成について」

受奨金額：7万円

第44号 氏 名：藤原葉子

研究題目：「多価不飽和脂肪酸の各種培養細胞系での代謝と脂質代謝への効果」

受奨金額：7万円

・家庭経営学奨学金受奨者

第32号 氏 名：岡島史佳

研究題目：「生活行動における生理的負担の評価」

受奨金額：5万円

第33号 氏 名：前田尚子

研究題目：「老年期の社会的ネットワーク」

受奨金額：5万円

・人間文化研究科奨学金受奨者

第10号 氏 名：小竹佐知子

研究題目：「食品の調味機構の解析—食品内部への調味料の拡散—」

受奨金額：10万円

第11号 氏 名：河 台烈

研究題目：「カルニチン生成合成および脂  
肪酸の酸化に及ぼすアスコルビ  
ン酸の役割に関する研究」

受賞金額：10万円

・池田摩耶子記念奨学金受賞者

第11号 氏 名：金 文子

研究題目：「豊臣秀吉の朝鮮出兵と講和交  
渉」

受賞金額：10万円

第12号 氏 名：金 美恵

研究題目：「空間能力の性差」

受賞金額：10万円

第13号 氏 名：王 研

研究題目：「水溶液系での水の動的構造の  
研究ーラマン分光ー」

受賞金額：10万円

第14号 氏 名：襄 淑姫

研究題目：「絹の水系混合溶媒による染  
色」

受賞金額：10万円

第15号 氏 名：畝 玉姫

研究題目：「俳諧における季節観の研究」

受賞金額：10万円

第16号 氏 名：高 穎多

研究題目：「無限大の共役不飽和炭化水素  
の $\pi$ 電子構造の分子軌道法によ  
る解析」

受賞金額：10万円

・池田重記念奨学金受賞者

第1号 氏 名：洪 秀妍

研究題目：「児童雑誌「オリニ」を通して  
見た法定換の児童観」

受賞金額：10万円

## ○平成2年秋の叙勲について

平成2年11月3日の秋の叙勲で本学名誉教授矢部  
章彦氏が勲二等瑞宝章を、同じく柳宗玄氏が勲三等  
瑞宝章を受章されました。

また、元本学事務局長池田国男氏が勲四等旭日小  
綬章を受章されました。

## ○永年勤続者表彰について

平成2年度永年勤続者表彰式が平成2年11月22日  
大学会議室で行われ、被表彰者には、表彰状並びに  
記念品が授与されました。

被表彰者は次のとおりです。

文教育学部	浅井 清
"	春日 喬
"	海老根静江
"	石丸 昭二
"	遠藤秀一郎
"	内田 伸子
理 学 部	竹内 順治
家政学部	本田 和子
"	水野 悌一
"	板倉 壽郎
"	大塚 傳也
生活環境研究センター	大橋 昌子
附属小学校	流田 直
附属中学校	吹貝 賢一
"	井上 泰次
"	秋山 晶子
附属高等学校	三浦 良子
入学主幹室	中島 武幸
附属学校部	滝本 照子



(永年勤続表彰式)

## ○海外渡航

所属・職名	氏 名	渡 航 先 国	渡 航 目 的	期 間	渡航種別
文教育学部 教 授	浅 井 清	カナダ	日本近代文学の研究と調査	2・10・5～ 2・10・16	研 修
文教育学部 教 授	遠 藤 秀 一 郎	ポーランド人民 共 和 国	ショパン国際コンクール視察と調 査	2・10・7～ 2・10・24	〃
文教育学部 教 授	徳 丸 吉 彦	ドイツ連邦 共 和 国	楽器製作シンポジウム参加	2・10・28～ 2・11～2	〃
理 学 部 助 手	飯 田 潤 二	アメリカ合衆国	MMM (Maghetism and Magneti Mateials) 国際会議出席	2・10・28～ 2・11・3	〃
附属中学校 教 諭	田 中 美 也 子	アメリカ合衆国 チェコスロバキ ア社会主義共和 国他	海外教育事情視察派遣のため	2・10・19～ 2・11・12	出 張
文教育学部 助 教 授	久 保 幸 夫	アメリカ合衆国	GIS/LIS 90' (地理情報システム ・国土情報システム90シンポジウ ム) 出席のため	2・11・7～ 2・11・12	研 修
文教育学部 助 教 授	内 藤 俊 史	アメリカ合衆国	道徳教育学会及びノートルダム大 学共催会議出席	2・11・5～ 2・11・13	〃
家 政 学 部 教 授	中 村 隆 英	ドイツ連邦 共 和 国	ボン大学において「近代日本経済 史」講演のため	2・11・3～ 2・11・14	〃
文教育学部 教 授	徳 丸 吉 彦	ドイツ連邦共和国 オーストリア共和国 チェコスロバキア 社会主義共和国	日本音楽についての講演	2・11・12～ 2・11・21	〃
文教育学部 助 教 授	鷹 野 光 行	タイ王国	タイ東北地方における先史時代生 産遺跡の発掘調査	2・10・14～ 2・11・30	出 張
家 政 学 部 教 授	板 倉 壽 郎	アメリカ合衆国	マサチューセッツ工科大学高等視覚 研究所において芸術と環境につい て共同研究のため	2・8・25～ 2・12・1	研 修
理 学 部 助 手	榎 本 陽 子	アメリカ合衆国	カリフォルニア・パークレー数理 研究所で開催される一般表現論 ワークショップへ参加及び共同研 究者打ち合せ	2・11・30～ 2・12・10	〃
理 学 部 助 手	最 上 善 広	ソビエト社会主 義共和国連邦	宇宙生物学実験運用のため	2・11・18～ 2・12・13	出 張

## ○研 修

名 称	実施期日	対 象 者	修 了 者	主 催
平成2年度国立大学事務長研修	平成2年 10月23日 ～ 10月25日	国立大学の事務長で年齢56歳以下の者のうち、各機関の長の推薦を受けて、文部省大臣官房人事課長が決定する者。但し、平成2年4月1日以降新たに就任した者	家政学部事務長 薄葉 章	文部省
第25回関東甲信越地区国立大学等会計事務職員研修会	平成2年 10月22日 ～ 10月26日	現在会計事務に従事し、かつ、1年以上会計事務の経験を有するもの	会計課一般係員 橋本 直英	文部省及び 埼玉大学
平成2年度文部省施設担当職員研修	平成2年 11月15日 ～ 11月21日	各国立学校、各大学共同利用機関等、文部省各施設等機関、文化庁各施設等機関及び文部本省に所属する中堅の施設担当職員で所属長が推薦する者	施設課一般係員 熊谷 卓郎	文部省
平成2年度国立学校等課長(事務長)補佐研修	平成2年 11月26日 ～ 11月29日	国立学校等の課長補佐及び事務長補佐で、原則として年齢50歳以下の者のうち、各機関の長の推薦を受けて、文部省大臣官房人事課長が決定する。但し、平成元年4月1日以降新たに就任した者を中心とする	会計課長補佐 金井 晃	文部省及び 東京大学
平成2年度人事事務研修	平成2年 12月5日 ～ 12月13日	人事事務を3年以上担当している係長、主任又は中堅職員で行政職(一)2級以上の者 ただし満35歳以下で、この研修を受講したことのない者	庶務課一般係員 千葉 久雄	文部省

## ○平成2年度健康診断

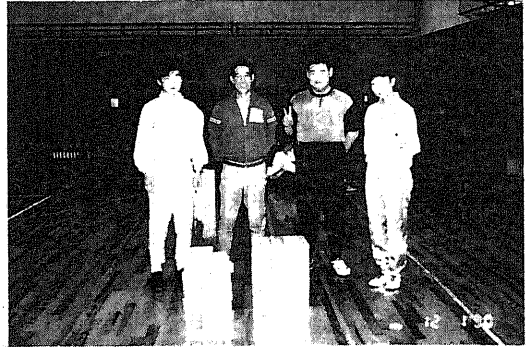
事 項	実施期日	対 象 者	受診者数	実 施 場 所
職員一般定期健康診断 (第1回)	平成2年 10月18日～ 10月19日	全職員。ただし、人間ドック受診者及び 遠隔地勤務者を除く。	195人	保健管理センター
遠隔地勤務者健康診断	平成2年 11月14日及び 11月21日	志賀高原体育運動場、理学部附属臨海実 験所及び館山野外教育施設勤務者	6人	長野県中野保健所 千葉県館山保健所
肝臓機能検査	平成2年 11月15日～ 11月16日	4月1日現在満40歳以上の職員。た だし、人間ドック、特別定期健康診断受診 者及び遠隔地勤務者を除く。	83人	保健管理センター
胃の検査	平成2年 11月15日～ 11月16日	4月1日現在満40歳以上の職員。た だし、昨年直接2次検診と判定された者、 人間ドック受診者及び妊娠中の女子職員 を除く。	55人	保健管理センター 前 集団検診車
職員一般定期健康診断 (第2回)	平成2年 11月30日	全職員。ただし、前回と人間ドックの受 診者及び遠隔地勤務者を除く。	28人	保健管理センター

## ○レクリエーション行事

行 事 名	実施日時	参加者数	内 容 ・ 入 賞 者 (チ ー ム) 等	実 施 場 所
平成2年度観劇	11月10日 11日 18日 24日 25日	71名	題名「国性爺合戦」 「紅葉狩」	国立劇場
平成2年度 教職員ボウリング大会	11月7日 18時～20時	45名	優 勝 西村 光範(会計) 八重樫 博(施設) 永井 悟(文教) チーム 準優勝 西原 敏雄(会計) 柴田 正造(会計) 加藤 裕二(附小) チーム 3 位 橘川 元哉(会計) 高野 佳征(学務) 山本 直之(会計) チーム 得 点 1位 478ピン 2位 464ピン 3位 462ピン (個人3ゲームのハイゲームトータル)	池袋 トーホーボール
平成2年度 教職員卓球大会	12月1日 13時～17時	24名	優 勝 Bチーム 中村一吉(学生)、石井朋子 (附高)、湯沢雅彦(家政)、 三井田勝(附学)、田中克典 (附高)、永井悟(文教) 準優勝 Cチーム 入江孝信(庶務)、峯村薫 (会計)、柴田正造(会計)、 高田洋一(会計)、傳田美千代 (会計)、横山典子(庶務)	大学体育館



(教職員ボウリング大会)



(教職員卓球大会優勝のBチーム)

## 日 誌

(2.10.16~2.12.15)

10月16日(火) 部局長会議

各学部主任会議

池田摩耶子記念奨学

基金審査委員会

17日(水) 各学部教授会

各研究科委員会

関東甲信越地区国立学校等施設部課長  
会議(19日まで於上越教育大学)

18日(木) 一般定期健康診断(18日~19日)

19日(金) 関東甲信越地区国立大学長会議(於如  
水会館)

20日(土) 女子大学連盟総会(於実践女子大学)

22日(月) 第25回関東甲信越地区国立大学等会計  
事務職員研修会(22日~26日)

附属幼稚園募集要項配付(22日~11月  
6日)

23日(火) 部局長会議

24日(水) 体育祭、評議会

附属学校教育研究委員会

博士課程入試委員会

附属小学校防災訓練

25日(木) 関東甲信越地区国立大学事務局長会議  
(25日~26日)

国立22大学理学部長会議

26日(金) 第8回国立大学理学部長会議

27日(土) 公開講座(最終回)

29日(月) 保井・黒田奨学基金審査委員会

30日(火) 国立15大学学長懇話会

31日(水) 人間文化研究科会議

11月5日(月) 一般教育委員会

6日(火) 推薦入学受付開始(理学部11月13日ま  
で)

7日(水) 教務委員会、教職課程専門委員会、推  
薦入学受付締切(文・家)

附属図書館長候補者選挙公示

附属幼稚園入園受付

教職員ボウリング大会

8日(木) 附属幼稚園第1次検定

9日(金) 事務連絡会

10日(土) } 微音祭

11日(日) }

13日(火) 部局長会議

各学科主任会議

附属学校委員会

14日(水) 附属図書館長候補者選挙

各学部教授会

国立大学協会総会(14日~15日於学士  
会館)

入試センター試験東京地区担当課長会  
議(於東京水産大学)

15日(木) 育英会奨学生選考会

文部省施設担当職員研修会(於オリン  
ピック青少年記念センター)

16日(金) 国立大学協会事務連絡会

小石川寮防火訓練

附属中学校研究発表大会



- 18日（日）大山寮防火訓練
- 19日（月）附属小学校募集要項配付（11月26日まで）  
附属幼稚園第2次検定
- 20日（火）部局長会議  
外国人留学生委員会  
奨学金授与式
- 21日（水）評議会、臨時教授会  
人間文化研究科会議
- 22日（木）永年勤続者表彰式
- 24日（土）附属幼稚園合格発表
- 26日（月）国立学校等課長補佐研修（26日～29日  
於国立教育会館）
- 28日（水）入試委員会、附属学校教育研究委員会、  
附属小学校願書受付
- 29日（木）創立記念日、推薦入学第2次試験（文  
・家）
- 30日（金）推薦入学第2次試験（文）  
関東甲信越地区Aブロック施設担当職  
員研修交流
- 12月1日（土）厚生補導関係教職員研究会（1日～2  
日）  
附属高等学校募集要項配付（1月14日  
まで）
- 3日（月）学生委員会、帰国子女特別選抜第2次  
選考  
附属中学校募集要項配付（27日まで）  
附属小学校第1次検定
- 4日（火）部局長会議、各学部主任会議、生活環  
境研究センター運営委員会、附属小学  
校第2次検定
- 5日（水）各学部教授会、各研究科委員会
- 6日（木）推薦入学合格発表  
帰国子女特別選抜合格発表
- 7日（金）事務連絡会、教育実習専門委員会
- 10日（月）附属小学校合格発表
- 11日（火）部局長会議、学位記授与式、施設計画  
委員会
- 12日（水）評議会、将来構想検討委員会、一般教  
育・教務合同検討委員会
- 13日（木）入試センター試験担当者連絡協議会